

害鳥獣撃退装置

「Y N J B A 1 3」

納入仕様書

製造番号：P132407-003

2 0 2 2 年 9 月

合同会社 Y N E

承認	確認	作成

1. 適用範囲

本仕様書は、害鳥獣撃退装置「Y N J B A 1 3」に関して適用します。

2. 概要

生態音響（捕獲時苦渋音、狩猟時の吠声、天敵警戒音等）による定時発声（10分～60分）によって、害鳥獣を追い払う「害鳥獣撃退装置」です。

3. 構成

3-1. 本体

「Y N J B A 1 3」の構成は表1による。

表1 構成品

番 号	品 名	数 量	備 考
1	Y N J B A 1 3 本体	1 個	
2	A C / D C 電源（充電器）	1 個	
3	携帯用バッテリー	1 個	
4	ソーラーパネル	1 個	
5	設置台座	1 個	
6	取付ビス・ナット等	1 式	

3-2. 形状・寸法・質量

最大寸法及び最大質量は表3による。

表3 最大寸法及び最大質量

番 号	品 名	最大寸法 (mm)			最大質量 (k g)	備 考
		幅	高さ	奥行き		
1	本 体	175±2.5	125±2.5	65±2.5	0.72	

4. 特徴・取扱い

4-1. 特徴

- (1) 生態音響（捕獲時苦渋音、狩猟時の吠声、天敵警戒音等）による定時発声（10分～60分）によって、害鳥獣を追い払う「害鳥獣撃退装置」です。
- (2) スピーカに周囲騒音とならないパラメトリックスピーカーを使用しています。
- (3) パラメトリックスピーカーは、撃退音声で変調された超音波スピーカーを複数個配置し、位相を同期させて空気中に発射する技術です。これにより、狭い範囲に音波の圧力を高めることができます。空気の弾性非直線性を利用して、撃退音声を再現し、遠方の限られた領域にだけ撃退音声を届けることができます。このため、中心付近では音声が届く一方で、周囲ではほとんど聞こえないという特性があります。また空気中でのかなりの音圧となり、生態音響の恐怖の他、害鳥獣の聴力に対して強いストレスを与えます。
- (4) 撃退音声は、猟友会の皆様より提供頂いた駆除時の苦渋音・天敵の威嚇音・猟犬の吠声等を5種類以上をランダムまたは重ね合わせてパラメトリックスピーカーより発声することにより、害鳥獣の「馴れ」を防止して持続的な対策として効果を発揮します。（持続的撃退対策）

※異種生態音響

発声種類：1. イノシシ(15種) 2. シカ(20種) 3. カラス(15種) 4. クマ(5種)

5. ハクビシン(25種) 6. ハト(10種) 7. ムクドリ(10種)

発声時間：1CH～6CH≒22秒 CH7(ムクドリ)≒120秒

- (5) 作物の出荷時及び繁忙時には、最短定時（10分）発声とすることにより、害鳥獣を寄せ付けないようにすることができます。
- (6) 耐候強化プラスチック素材を使用して耐防水性を強化しております。

4-2. 取扱い

装置は予め、害鳥獣設定：ムクドリ 定時設定：60分 音量：「6」で出荷時設定されおり特に設定は必要ありませんが、変更したい時は 電源投入前に各VR及びSWを設定します。

(1) 対象害鳥獣SW

対象とする害鳥獣をパネル表示に従って設定（ロータリスイッチを回す）します。出荷時は「7」の位置（ムクドリ）となっております。対象害鳥獣対メモリ数値は
イノシシ：「1」、シカ：「2」、カラス：「3」、クマ：「4」、ハクビシン：「5」、ハト：「6」
7：ムクドリとなっております。

※設定にはマイナスインプリアーをご用意ください。

(2) 定時設定VR

定時発声時間を設定します。（出荷時60分）周囲の状況で任意に変更できます。

(3) 音量設定VR

スピーカ音量の設定をします。周囲の状況で任意に設定できます。

YNJBA13では、「6」で運用してください。

(4) 発声間隔ボリュームの設定

予め、任意のエリアへの害鳥獣の出現・通過が予想されて、集中的に害鳥獣を追い払いたい時には、定時発声間隔を最小の「10分」で数日間運用をします。最小の「10分」での定時発声はバッテリー消費量が増加するため（最大運用時間は50時間）、運用中雨天等で日照不足が継続すると、「バッテリー切れ」になる可能性があります。その様な時には⑩にて「充電」を行います。上記期間以外はバッテリー時間保持の為に発声間隔を30～60分程度で運用します。また付属する「携帯型バッテリー」でも「充電」が可能です。

5. 仕様

5-1. 仕様

1. 対象害鳥獣：イノシシ、シカ、クマ、ハクビシン、カラス、ハト、ムクドリ
2. スピーカタイプ：パラメトリックスピーカー
3. スピーカ出力：106dB SPL/0.3m以上
4. 生態音響到達距離：約 40m

※本機の発声はパラメトリックスピーカーにより周囲にはほとんど聞こえませんが、中心付近では、十分な到達距離を有し、害鳥獣の聴覚の鋭さも相まって十分な威嚇動作を発揮します。

5. 発声時間間隔：10分～約60分
6. 動作電源電圧：12V（バッテリー駆動）
7. 動作モード：昼間のみ・昼夜モードをSW切替。

（カラス用では昼間のみの使用を推奨。）

8. 異種生態音響：5種以上
10. 設置：単一設置 移動携帯可能
11. 本体寸法：高さ：175mm 幅：125mm 奥行き：65mm（ソーラーパネル及び設置台座は除く）
12. 本体重量：0.72kg（ソーラーパネル及び設置台座は除く）
13. バッテリー動作時間：太陽電池パネルの充電補助にて、2年以上

※一週間以上の雨・曇天時（十分な太陽光を得られないとき）は付属の携帯型バッテリーで充電が必要となる時がありますが、通常は「晴天」が戻って6時間のソーラーパネル充電で復旧します。

※本機を持ち上げる時は台座の部分を持つようにお願いします。

14. 使用場所：屋外
15. 使用周囲温度：-10～50℃
16. 使用環境湿度：相対湿度85%以下：結露や水漏れの対策（防湿処理）はしないものとする。

6. 保証

納入後一年間、明らかな設計、製造上の不備に起因する故障に関しては無償修理を行います。
また、当該期間経過後においても、弊社の重大な過失等により不具合が発生した場合には、弊社の責任において迅速に修理または交換を行うものとします。

7, バッテリーでの運用時間 (Y N J B A 1 3)

7-1. バッテリー運用時間

バッテリーの最大運用時間はY N J B A 1 3では、

- (1) 日照が何もない(ソーラーパネルでの給電がない)

の条件で「1 分の発声間隔で≒ 5 時間」です。

標準設定(10 分発声間隔)で50 時間(≒ 2 日)と考えてください。

バッテリーでの運用時間は概略下記のようになります。(目安です。)

- (1) 一日の日照時間が4 時間以上————> 4 日後まで、定時発声間隔10 分でバッテリー運用可能。(定時発声)
- (2) 一日の日照時間が2 時間程度————> 3 日後まで、定時発声間隔10 分でバッテリー運用可能。(定時発声)
- (3) 一日の日照時間が1 時間程度————> 2 日後まで、定時発声間隔10 分でバッテリー運用可能。(定時発声)
- (4) 一日の日照時間が0 時間(曇り) ——> 翌日まで、定時発声間隔10 分でバッテリー運用可能。(定時発声)
- (5) 一日の日照時間が0 時間(雨模様) —> 半日まで、定時発声間隔10 分でバッテリー運用可能。(定時発声)

7-2. バッテリー充電時の目安

毎日晴天が続いていれば、または上記(1)～(5)に示す間隔で、運用されていれば、バッテリー充電は不要ですが、曇天・雨天が連続したときは、充電時期に注意をお願いします。

充電必要時には、電源「ON」LEDが消灯します。これはバッテリーが放電終止電圧(9 V)以下となったことを示します。

この時には、充電が必要で、また機器は充電容量保持のため「発声」動作を行いません。これは充電容量が「完全放電」(カラ)になることを阻止するためです。

7-3 . バッテリー充電時の注意

バッテリー充電は「電源スイッチ」を[OFF]に倒して行います。バッテリーの充電時間は「2～4 時間」が目安ですが、内部蓄電状況により時間が変化します。

しかし、「6 時間以上」の充電未終了等の極端な充電時間になる場合には、次の対応をお願いします。

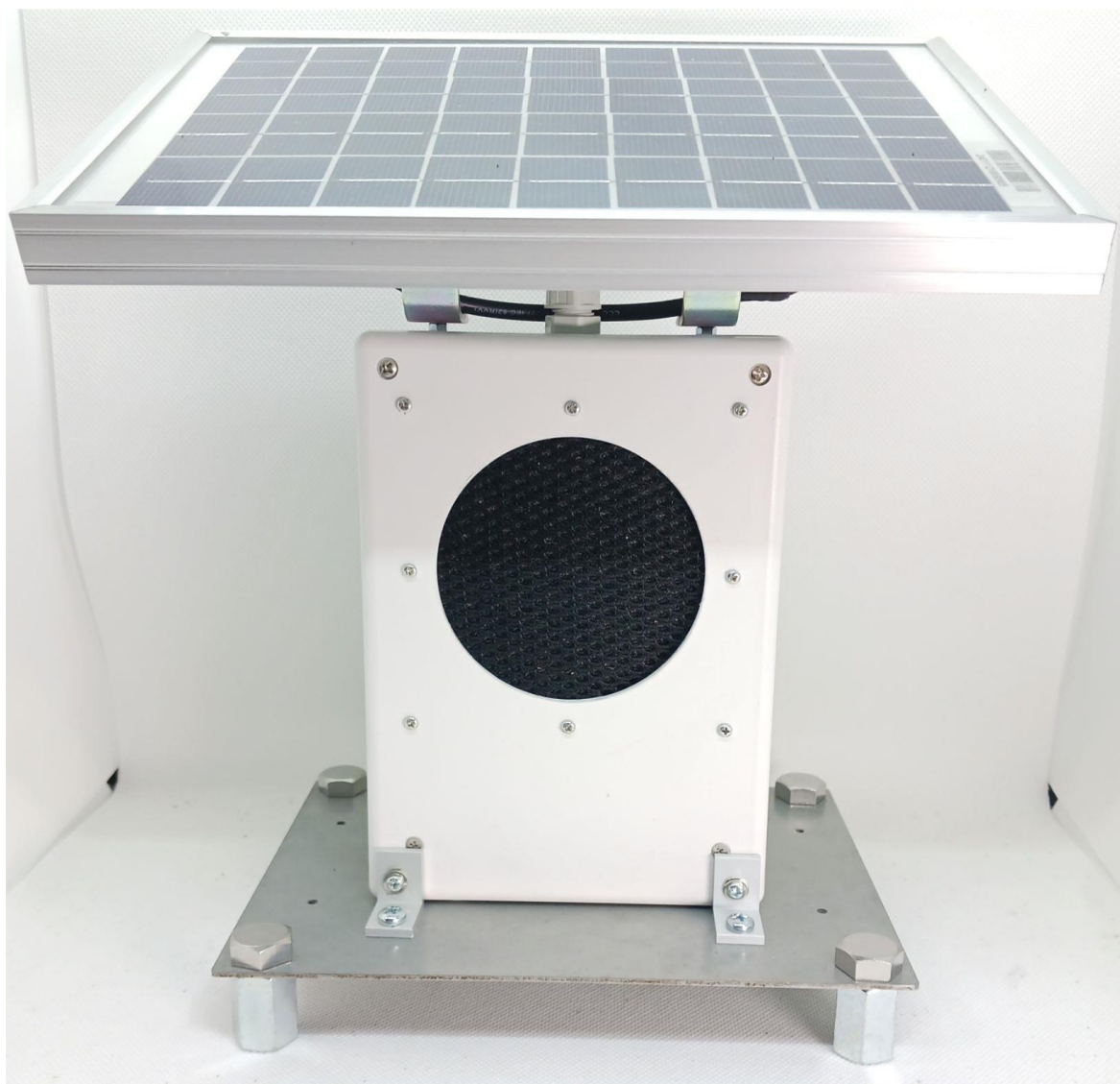
- ① 「6 時間以上」の充電未終了->6 時間以上経っても充電が終了しない時は「充電池」の劣化が
- ② 考えられますので、電話・メール・ホームページでお申し出ください。対応いたします。

※尚、充電する時は、まずAC/DC アダプターを機器に差し込んでから、AC プラグをAC コンセントに接続してください。AC コンセントにAC プラグを差し込んだまま、AC/DC アダプターを機器に差し込むと、AC/DC アダプターの差し込みチャタリングのため、充電回路の起動が不完全となる場合があります。

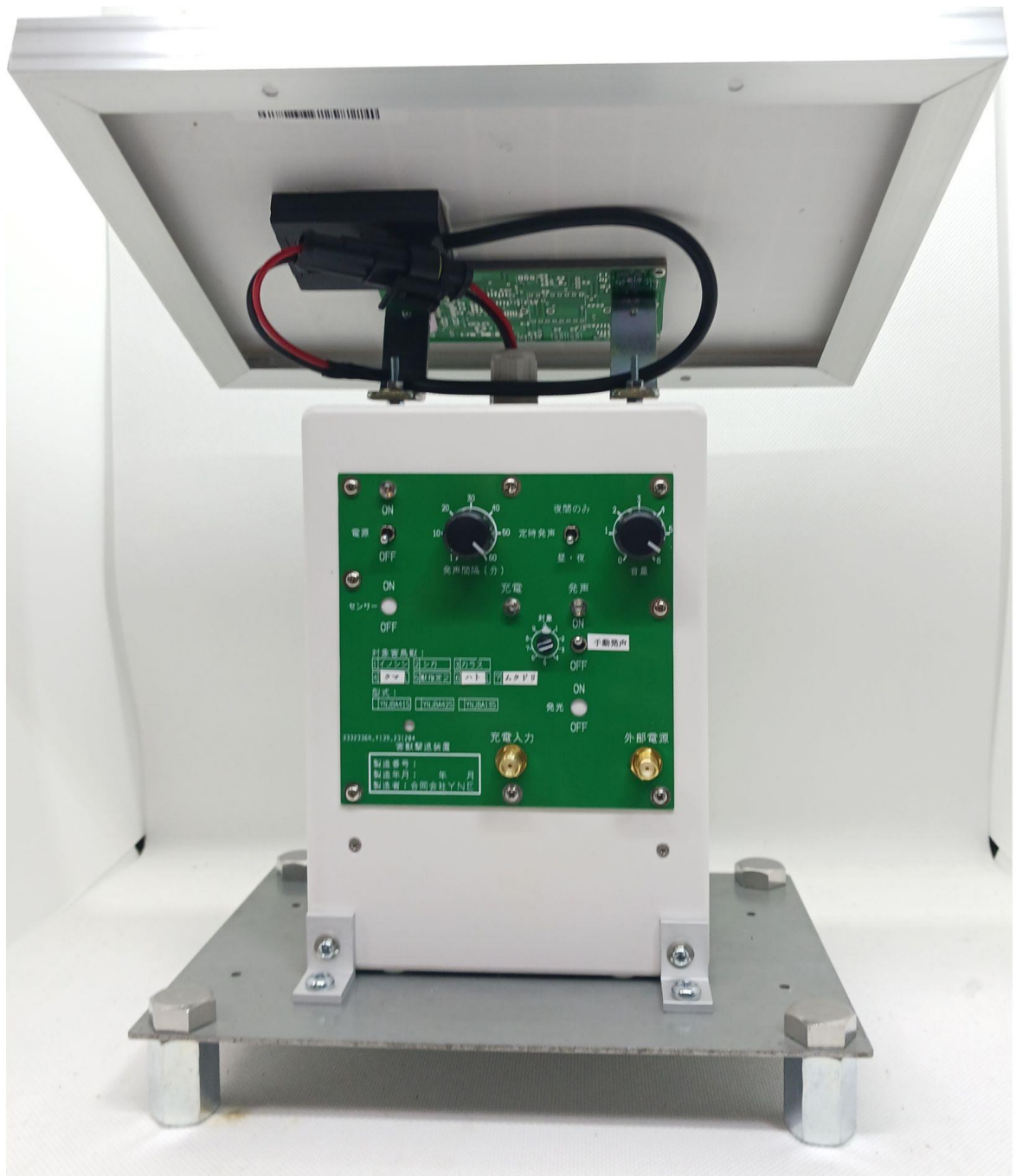
※尚 機器取扱い・機器設置については弊社ホームページ (<https://yne-gaijyu.jp/>) 記載をご参照ください。

8. 機器全景

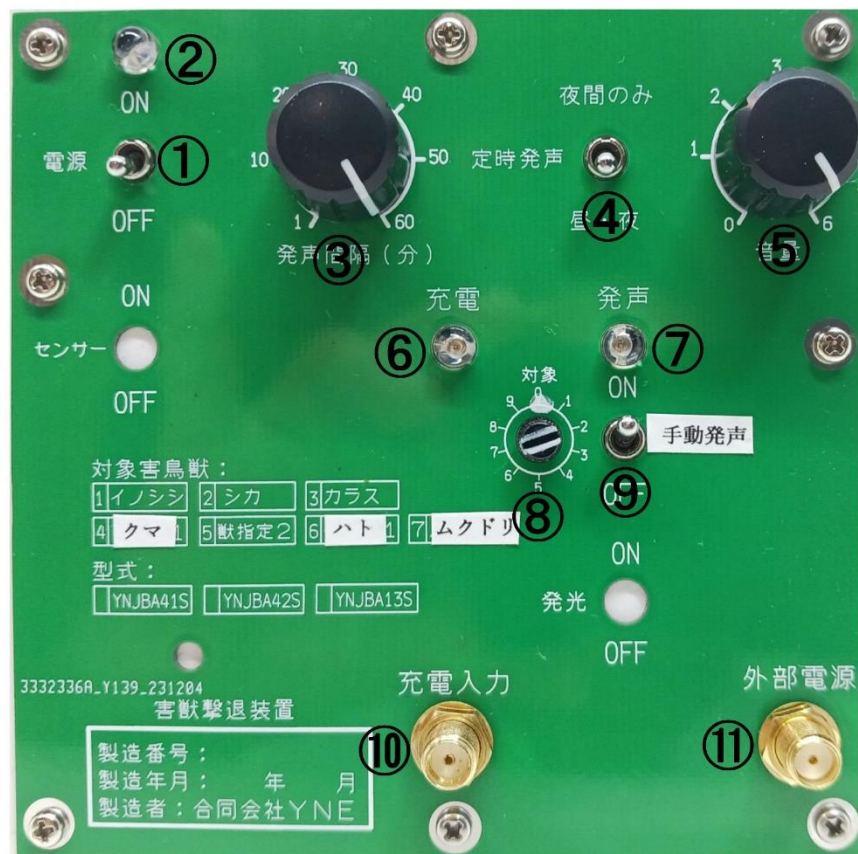
YNJBA13全景（正面）



YNJBA13全景（裏面）



9. 操作取り扱い



(1) 操作部名称

- ①電源SW——電源投入スイッチ
- ②電源 LED——電源「入」を示す表示灯(黄色)
- ③発声間隔VR——一定時発声時間を設定するボリューム
- ④夜・昼切替SW——発声を(夜間のみ/昼夜)に切り替えるSW
- ⑤音量VR——パラメトリックスピーカー音量の設定ボリューム
- ⑥外部充電 LED——充電を行っている時に充電中を示す表示灯(赤色)
- ⑦発声LED——発声時を示す表示(赤色)
- ⑧対象害獣設定SW——音声chの設定スイッチ
- ⑨手動発声SW——手動強制発声スイッチ
- ⑩充電入力コネクタ——充電を行うときの入力コネクタ
- ⑪外部電源コネクタ——外部電源の入力に使用。